

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	産業振興課長 五十嵐 豊	
		主管課(関係課)【2】	産業振興課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
活1-2	新産業の育成	まちの産業が活力を発揮し活躍するために	活力と魅力あるまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	景気の低迷や経済のグローバル化による産業構造の変化は、本市の地域経済にも少なからず影響を及ぼしています。商工業分野では、大規模工場の撤退や縮小、関連事業所の減少のほか、商店街における後継者不足や空き店舗の課題がある反面、市内では新たに創業する事業者も見られます。また、本市が住宅都市であることを念頭に、住宅と共生が可能な産業として、ソフトなものづくり産業についての調査・研究結果を踏まえて支援を行っていくことが必要です。今後は、西東京商工会などを中心とした起業、創業の支援の取組やチャレンジジョブ事業、一店逸品事業などの取組の成果をあげていくとともに、さらなる分野横断的な連携が必要です。		◆西東京商工会などを中心とした起業、創業のための支援 ◆ソフトなものづくり産業への支援	起業・創業に対する支援を行い、新産業を育て、地域の活性化をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇平成26年1月の産業競争力強化法の制定以降、地域における起業・創業を促進する取組の重要性が高まっています。◇国において毎年度見直しが行われている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中でも、常に新産業の育成支援が掲げられています。本市においても、地域の特性を踏まえた起業・創業支援に係る取組を戦略的に展開する必要があります。また、東京都においても「2020年に向けた実行プラン」の中でも、働き方・ライフスタイルの大きな変化を掲げているところであり、市民ニーズを捉えながら、起業・創業を志す方に対する本市独自の支援体制も必要です。◇「健康」応援都市の実現、とりわけ、まちの活力を高める上では、新産業の育成は重要な課題の一つです。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	起業・創業に対する支援や環境整備を進めます	起業・創業のための支援	
	2	産学公連携の取組を進めます	市内の地域資源・知的資源・技術力の活用	

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29		
成果指標【12】	指標1	名称	「新産業の育成や企業誘致の推進」の取組に対する満足度		目標値	8%		単位	%		
		算出式・説明	地域を活性化させるために、市が行っている「新産業の育成や企業誘致の推進」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。		実績値	6.5	6.5	6.5	6.7	6.7	10.8
		達成率	81%	81%	81%	84%	84%	135%			
	指標2	名称	創業支援事業により起業した件数		目標値	15件		単位	件		
		算出式・説明	新産業を育成するうえで、起業・創業を促す創業支援事業は重要です。起業・創業を促すための創業支援事業により起業した件数を増やすことを目標とします。		実績値	9	14	8	11	28	
		達成率	60%	93%	53%	73%	187%	0%			
	指標3	名称	ソフトなものづくり産業事業所の数		目標値	300箇所		単位	箇所		
		算出式・説明	市が実施するソフトなものづくり産業の企業誘致や育成支援の効果を知るうえで、ソフトなものづくり産業事業所の立地・創業・集積が重要です。ソフトなものづくり産業事業所数を増やすことを目標とします。		実績値	248	248	248	248	248	
		達成率	83%	83%	83%	83%	83%	0%			
	指標4	名称			目標値			単位			
		算出式・説明			実績値						
		達成率									
達成率の平均値				75%	86%	72%	80%	118%	45%		

【市民意見】【13】

	24年度	27年度	29年度
満足度(%)	6.5%	満足度(%)	6.7%
満足度(平均ポイント)	-0.23	満足度(平均ポイント)	-0.17
重要度(%)	55.4%	重要度(%)	54.4%
重要度(平均ポイント)	0.68	重要度(平均ポイント)	0.65

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	■ まだ未達成 □ ほぼ達成 □ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	■ 平均を下回る □ ほぼ平均 □ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	□ 弱くなっている □ 以前と同程度 ■ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	■ 平均を下回る □ ほぼ平均 □ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策内容の方向性【20】	□ 拡充 ■ 現状維持 □ 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化 ■ 現状維持 □ 効率化	
		施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域	
総合評価	判断理由等【24】	新産業の育成については、平成27年度に本市の創業支援事業計画が国の認定を受けて以降、市・商工会・多摩信用金庫による創業支援ネットワークを活用し、各種事業を実施してきました。また、総合戦略に基づき、女性の働き方サポートを推進する事業にも着手しています。市民意識調査結果では、満足度・重要度ともに大きな変化は見られませんが、引き続き満足度は低くなっています。また、施策成果の目標は達成していません。そのため、施策実施コストの重点化を図るべきと判断しました。産業振興戦略会議を中心とした産学公金連携により、チャレンジジョブ事業、創業融資あっせん、マッチングコーディネーター事業の拡充などに取り組んでいきます。さらに、「健康」応援都市の実現に向けて、女性の働き方サポートを推進するとともに、SOHO施設等の整備による起業・創業しやすいまちづくりに取り組む必要があります。		
総合評価	施策実施方針【22】	IV	成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	□ 拡充 ■ 現状維持 □ 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	■ 重点化 □ 現状維持 □ 効率化	
	判断理由等【24】	新産業の育成については、平成27年度に本市の創業支援事業計画が国の認定を受けて以降、市・商工会・多摩信用金庫による創業支援ネットワークを活用し、各種事業を実施してきました。また、総合戦略に基づき、女性の働き方サポートを推進する事業にも着手しています。市民意識調査結果では、満足度・重要度ともに大きな変化は見られませんが、引き続き満足度は低くなっています。また、施策成果の目標は達成していません。そのため、施策実施コストの重点化を図るべきと判断しました。産業振興戦略会議を中心とした産学公金連携により、チャレンジジョブ事業、創業融資あっせん、マッチングコーディネーター事業の拡充などに取り組んでいきます。さらに、「健康」応援都市の実現に向けて、女性の働き方サポートを推進するとともに、SOHO施設等の整備による起業・創業しやすいまちづくりに取り組む必要があります。	
総合評価	施策実施方針【22】	IV	成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域

【施策内の事務事業貢献度判定】

活1-2 新産業の育成

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	起業・創業支援の充実	産業振興課	市内で創業する中小企業者に対し、事業経営に必要な資金の融資あっせん、空き店舗の活用、創業支援・経営革新相談センター等における創業に関する相談・助言等を行うことにより、経済活動の促進及び安定化を図っていきます。
	ソフトなものづくり産業の育成支援	産業振興課	ソフトなものづくり産業について、同業種に関する実態把握及び情報発信等を随時行い、適切な支援策を講じることにより、持続可能な市内商工業の振興を図っていきます。
2	産学公の連携	産業振興課	産業振興戦略会議を通じ、産学公金連携事業を進めるとともに、市内の産業を活性化するための新たな事業提案を行っていきます。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
21,678	12,538	9,140	継続実施 (平成26年度)	中	各制度を利用するにあたっての、経営に対する事前・事後相談を行うことで、事業者の市内での長期的な事業継続に寄与しています。
4,571	2,078	2,493			市民と共存共栄を図ることができるソフトなものづくり産業の活性化に寄与しています。
9,140	0	9,140			金融機関のノウハウ等を活用することで、市内の産業振興につながっています。
35,389	14,616	20,773			